

明日をもっとおいしく

meiji

株主のみなさまへ

第2期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



明治ホールディングス株式会社

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、当社は、平成23年3月31日をもちまして、第2期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、海外経済の回復による企業収益の改善など一部で景気を持ち直しが見られたものの、厳しい雇用情勢が続き、個人消費は本格的な回復には至りませんでした。また、東日本大震災の影響により景気の先行きは不透明な状況となっております。

こうしたなか、当社グループは中・長期の取組みとして、「2009-2011グループ中期経営計画」および昨年9月に発表した「明治グループ2020ビジョン」に基づき、中核事業の競争力強化、新規需要の創造、経営体質の強化などに向けたさまざまな施策を推進するとともに、本年4月に実施した新・経営体制への移行準備を進めました。

業績面では、震災前までの進捗において、前期に続く乳製品の堅調、年間を通じた医薬品の好調に加え、菓子・健康の業況が秋に好転するなど、グループとして順調に推移しておりましたが、震災発生により東北・関東の一部工場や物流拠点が被害を受けるとともに、その後も原材料の供給停滞に加え計画停電による生産能力の低下・停止などサプライチェー

ン寸断により大きな影響を受けました。

その結果、当期における連結売上高は前期比0.7%増の1兆1,140億95百万円、営業利益は前期比0.3%増の288億73百万円、経常利益は前期比7.5%増の304億51百万円にとどまるとともに、当期純利益は、震災の影響に加えて連結子会社における減損会計処理による特別損失を計上した結果、前期比27.0%減の95億52百万円となりました。

当社グループを取り巻く市場環境は、長引くデフレと東日本大震災による不透明な経済環境のなか、日本国内の少子・高齢化や人口減少による総需要の伸縮に加え、生活者のライフスタイルや価値観の多様化など大きく変化しており、ニーズを的確に捉えた商品開発や品質保証体制の重要性が高まっています。

こうしたなか、経営統合による効果を早期に引き出すため、当社グループは食品事業を営む株式会社 明治と薬品事業を営むMeiji Seika ファルマ株式会社へ会社再編いたしました。この会社再編によって当社グループが保有する経営資源をより総合的な視点で活用することにより、「乳製品事業、菓子・健康事業、医薬品事業等の各事業の成長を強力に推進」、「健康栄養事業、スイーツ事業、アジアを中心とした海外事業など、新しい事業の成長機会の拡大」といった取組みを推進し、世界有数の「食と健康」の企業グループを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

食品から医薬品まで、 幅広い分野で貢献する ユニークな企業グループを目指して

明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長 佐藤 尚忠



新グループ経営体制について

私たち明治グループは、赤ちゃんからお年寄りまでのあらゆる年齢層のお客さまへ、食のおいしさ・楽しさや、心身両面での健康価値の提供を通して、お客さまの生活充実に貢献する企業グループを目指してまいります。

これこそ、他社には真似のできない、明治グループならではのユニークな価値提供です。

お客さまの生活充実への貢献に向けて、「明治グループ2020ビジョン」では、

「こども すこやか」「おとな はつらつ」「みんな わくわく」

のお客さま視点による3つのキーワードを掲げ、事業を展開してまいります。



明治グループ経営体制

「明治グループ2020ビジョン」の実現に向けて、平成23年4月1日、食品事業会社と薬品事業会社を置く新たなグループ経営体制に移行いたしました。競争環境・事業サイクル・諸規制などが異なる「食品」「薬品」それぞれの事業アイデンティティを明確化することで、中核事業の成長と統合効果の創出を加速してまいります。



各事業会社のご紹介



株式会社 明治

食品事業会社

代表取締役社長 浅野 茂太郎

乳幼児から高齢者まであらゆる世代のお客さまに向けて、粉ミルク、菓子、牛乳・乳製品、健康・美容・スポーツに役立つ食品や高齢者向けの食品、さらに流動食や介護食まで、多岐にわたる分野をカバーしています。そしてこれらの商品を、常温・チルド・フローズンと、ほぼすべての温度帯の物流システムと幅広い流通チャンネルで、安全・安心にお届けします。

これまで培ってきた技術・知見やアイデアを融合し、「食と健康」のプロフェッショナルとして、常に一步先行く価値を提供し続けていきます。



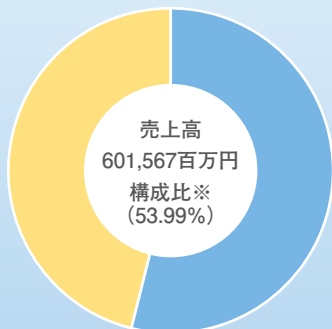
Meiji Seika ファルマ株式会社

薬品事業会社

代表取締役社長 松尾 正彦

人びとの「健康」と「いのち」を守るため、医療用医薬品事業においては、感染症治療薬・中枢神経系疾患治療薬・ジェネリック医薬品の三つの柱を軸に、『スペシャリティ&ジェネリック・ファルマ』として、患者さん、医療機関・ユーザーのみなさまから、また、農業事業・動物薬事業を通じて、安全・安心な食料生産と動物の健康に寄与する企業として、農業生産者・医療機関のみなさまから、信頼を得て、社会に貢献します。このために、私たちは誠実に、謙虚に、日々努力してまいります。

乳製品事業



当事業には、市乳(牛乳類・ヨーグルト等)、粉乳(コナミルク等)、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品(流動食・ヴァーム等)、畜産品等の製造・販売が含まれております。

連結売上高は、粉乳、飲料、牛乳類の一部苦戦があった一方、夏場の猛暑により伸長したアイスクリームや、チーズ、流動食などが好調に推移した結果、前期比0.2%増の6,015億67百万円となりました。特に「明治エッセルスーパーカップ」、業務用商品の「明治フレッシュクリームあじわい」や、継続的な市場定着策が奏功している「明治北海道十勝スマートチーズ」、「明治おいしい牛乳」などが好調に推移しました。ヨーグルトについても、昨年9月より商品ラインアップを拡充した「明治ブルガリアヨーグルト」シリーズが下半期大いに健闘しましたが、震災後はサプライチェーン寸断による大幅な制約を蒙ることとなりました。牛乳類も同様に影響を受け、市乳全体でほぼ前期並みにとどまりました。

また、営業利益は、熾烈な販売競争に伴う販売促進費の増加のあるなか、原材料コストや宣伝費の圧縮等により順調に成果を上げていたものの、震災後の大きな制約に伴うプロダクトミックスの悪化などにより、前期比0.3%増の134億58百万円となりました。



明治おいしい牛乳



明治エッセル
スーパーカップ
超バニラ



明治
ブルガリアヨーグルト
LB81



明治北海道十勝
スマートチーズ



明治プロビオ
ヨーグルトLG21

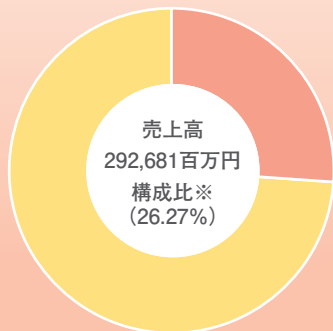


明治ほほえみ
らくらくキューブ



ヴァーム

菓子・健康事業



当事業には、菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品（「アミノコラーゲン」等）、一般用医薬品（「イソジン」等）等の製造・販売、スポーツクラブの経営等が含まれております。

菓子事業の売上は、主力のチョコレートが夏場の猛暑の影響を大きく受けたものの、看板商品である「ミルクチョコレート」の堅調に加え、商品ラインアップを充実させた冬期限定商品「メルティーキッス」が売上を伸ばすなど、得意分野を中心に秋以降順調に回復しましたが、震災による生産・出荷の停止・低下等により本年3月は大きく前年同月割れ、全体で前期を上回ることはできませんでした。健康事業の売上は、「ザバス」、「パーフェクトプラス」は堅調に推移しましたが、一昨年の新型インフルエンザ流行の反動による「イソジン」群の大幅減収が響き、前期を下回りました。一方、業務用食材は伸長しました。これらの結果、連結売上高は前期比0.1%減の2,926億81百万円となりました。

また、営業利益は、生産の効率化や販売費の削減など収支構造改善策を推し進めたものの、減収および原材料価格高、さらには震災の影響も加わり、前期比6.0%減の41億41百万円となりました。



ミルクチョコレート



キシリリッシュ
クリスタルミント



アーモンドチョコ



カール チーズあじ



アグロフォレストリー
チョコレート ミルク



ガルポボール



ココがおいしい
ミルクココア



メルティーキッス
クリーミーショコラ



銀座カレー 中辛

アミノコラーゲン

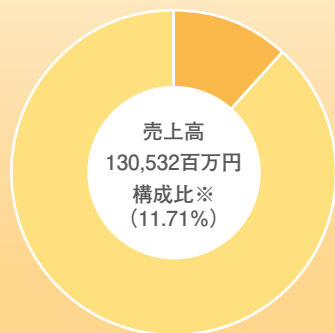


イソジンうがい薬



ザバス アクア
ホエイプロテイン100

医薬品事業



当事業には、医療用医薬品および農業・動物薬等の製造・販売が含まれております。

積極的な学術普及活動を行った抗菌薬「メイアクト」や平成21年に発売した2品（抗うつ薬「リフレックス」・抗菌薬「オラペナム」）が順調に売上を伸ばしました。またジェネリック医薬品は、カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」が大幅に売上を伸ばしたことに加え、昨年秋発売の消化性潰瘍用剤「ラベプラゾール 明治」も寄与しました。その結果、連結売上高は、薬価改定の影響を大きく受けたものの、前期比2.3%増の1,305億32百万円となりました。なお、震災により一部の工場が被害を受けましたが、医療用医薬品につきましては、一定の物流在庫・卸在庫の確保により供給面での滞りはなく、業績への影響は軽微にとどまりました。

営業利益は、極めて厳しい薬価改定の影響ならびに研究開発費増のあるなか、売上増による限界利益増や品種構成の改善等により大部分を吸収し、前期比2.0%減の83億12百万円となりました。



リフレックス錠



デプロメール錠



メイアクトMS錠・
メイアクトMS小児用細粒



オラペナム
小児用細粒



アムロジピン錠
「明治」



オリゼメート 粒剤

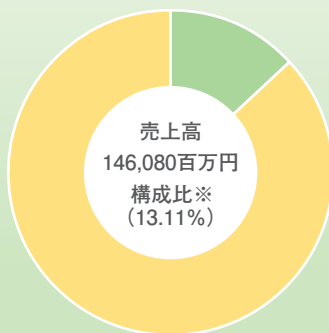


点滴静注用バンコマイシン「MEEK」



パナメクシン
チュアブルP

サービス他事業



当事業には、不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業が含まれております。

連結売上高は、物流子会社が夏場を中心に順調に推移したことに加え、子会社の新規連結により、前期比3.7%増の1,460億80百万円となりました。

また、営業利益は、物流子会社の増収や子会社の新規連結による増益があった一方で、飼料子会社での販売価格下落や不動産事業の減収による減益があり、前期比0.3%減の33億96百万円となりました。

概況の総括

当期における連結売上高は前期比0.7%増の1兆1,140億95百万円、営業利益は前期比0.3%増の288億73百万円、経常利益は前期比7.5%増の304億51百万円、当期純利益は、震災の影響に加えて連結子会社における減損会計処理による特別損失を計上した結果、前期比27.0%減の95億52百万円となりました。

※事業別の売上高および営業利益は連結消去前の金額を用いています。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
1,114,095百万円	28,873百万円	30,451百万円	9,552百万円

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (平成22年3月31日現在)	当期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,682	21,759
受取手形及び売掛金	154,589	146,377
商品及び製品	79,818	72,654
仕掛品	2,449	1,895
原材料及び貯蔵品	29,031	30,601
繰延税金資産	13,564	15,138
その他	13,709	13,582
貸倒引当金	△260	△333
流動資産合計	309,585	301,676
固定資産		
有形固定資産	332,875	334,869
無形固定資産	10,476	9,726
投資その他の資産	77,106	70,096
固定資産合計	420,458	414,692
資産合計	730,044	716,368
負債の部		
流動負債	300,741	301,333
固定負債	131,531	121,504
負債合計	432,272	422,838
純資産の部		
株主資本	289,345	291,724
その他の包括利益累計額	540	△3,942
少数株主持分	7,885	5,748
純資産合計	297,771	293,530
負債純資産合計	730,044	716,368

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,106,645	1,114,095
売上原価	734,675	732,860
返品調整引当金戻入額	10	—
売上総利益	371,980	381,234
販売費及び一般管理費	343,194	352,361
営業利益	28,786	28,873
営業外収益	3,921	6,173
営業外費用	4,391	4,595
経常利益	28,316	30,451
特別利益	605	1,799
特別損失	4,821	14,325
税金等調整前当期純利益	24,100	17,925
法人税等	10,578	8,339
少数株主損益調整前当期純利益	—	9,586
少数株主利益	433	34
当期純利益	13,088	9,552

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

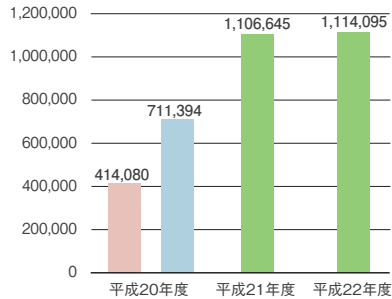
(単位:百万円)

	前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,707	57,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,641	△32,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,674	△19,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△325
現金及び現金同等物の増加額	1,403	5,658
現金及び現金同等物の期首残高	14,429	16,061
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	228	21
現金及び現金同等物の期末残高	16,061	21,741

明治製菓 明治乳業 明治ホールディングス

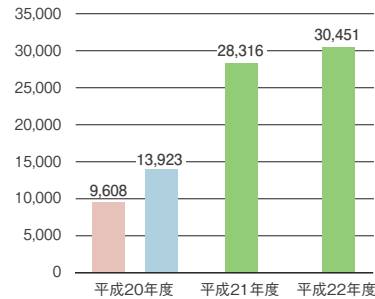
売上高

(単位: 百万円)



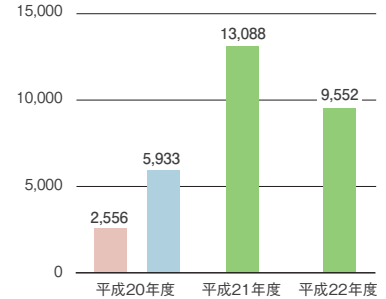
経常利益

(単位: 百万円)



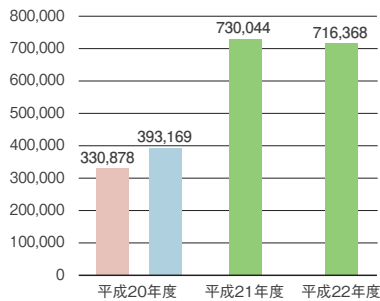
当期純利益

(単位: 百万円)



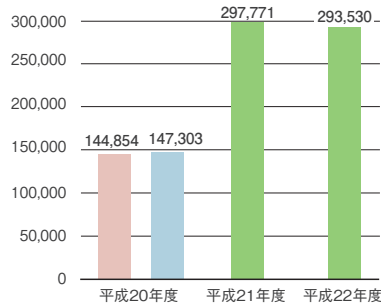
総資産

(単位: 百万円)



純資産

(単位: 百万円)



1株当たり当期純利益

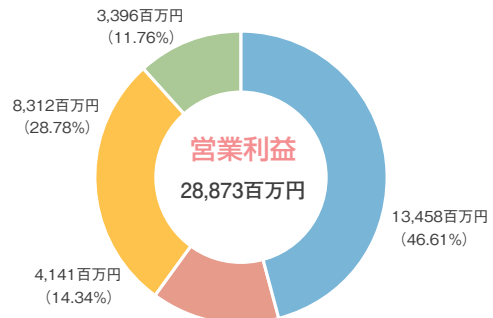
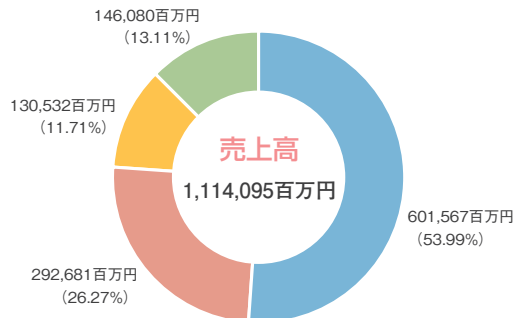
(単位: 円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
明治製菓	6.74	—	—
明治乳業	18.06	—	—
明治HD	—	177.73	129.63

(注)ホールディングス化に伴い、前期(平成21年度)より単元株式数の変更を行っております。

事業セグメント別構成比

乳製品事業 菓子・健康事業 医薬品事業 サービス他事業



※事業別の売上高および営業利益は連結消去前の金額を用いています。

お菓子で復興応援活動

対象商品の売上の一部を東日本大震災の義援金として日本赤十字社を通じて被災地のみなさまへお届けします。

- 対象商品
ミルクチョコレート58g、きのこの山、たけのこの里、カールチーズあじ、カールうすあじ
- 対象期間
2011年5月～9月
- 義援金額
対象商品1個につき1円



ミルクチョコレート58g



きのこの山



たけのこの里



カール チーズあじ



カール うすあじ

詰め合わせたお菓子を被災地の方へ

明治社員がボランティアで詰め合わせたお菓子に、応援メッセージを添えて、被災地の方へお届けしました。



行政および業界団体と緊密な連携を取りながら、みなさまへの支援として右記の義援金ならびに当社グループ製品を提供させていただきました。

義 援 金 1億円

支援物資 チョコレート等の菓子、ゼリー飲料、レトルト食品、育児用粉ミルク、流動食、イソジン（消毒剤・手洗い・マスクなど）、抗生物質など

会社概要

(平成23年3月31日現在)

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名: Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品等の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
代表取締役社長	佐藤 尚忠
設立	2009年4月1日
資本金	300億円
グループ従業員数	14,861名

役員紹介

(平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	佐藤 尚忠	兼 (株)明治 取締役 兼 Meiji Seika ファルマ(株) 取締役
代表取締役	浅野 茂太郎	兼 (株)明治 代表取締役社長
取締役専務執行役員	永田 毅	
取締役常務執行役員	高橋 秀樹	
取締役常務執行役員	平原 高志	
取締役	松尾 正彦	兼 Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長
取締役(社外)	矢嶋 英敏	
取締役(社外)	佐貫 葉子	
監査役(常勤)	川島 浩一郎	
監査役(常勤)	森島 知夏男	
監査役(社外)	宮本 晶二	
監査役(社外)	山口 健一	
執行役員	左座 理郎	

グループ会社

(平成23年3月31日現在)

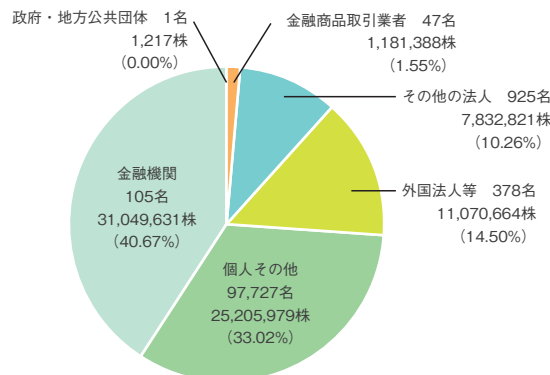
グループ全体	98社	連結子会社	52社
国内	71社	非連結子会社	30社
海外	27社	関連会社	16社

- 発行可能株式総数 280,000,000株
- 発行済株式の総数 76,341,700株
- 株主数 99,183名
- 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社みずほ銀行	3,582	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,421	4.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,921	3.83
日本生命保険相互会社	2,642	3.46
明治ホールディングス従業員持株会	1,622	2.13
第一生命保険株式会社	1,616	2.12
株式会社りそな銀行	1,523	2.00
農林中央金庫	1,446	1.89
東京海上日動火災保険株式会社	1,184	1.55
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,002	1.31

(注)上記の他に、当社が2,671千株(持株比率3.50%)保有しております。

所有者別



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

ブランドマークについて



【書体】

ぶくよかで柔らかな書体、親しみのある小文字を使用することによって、「食と健康」の企業グループらしい明るさと、お客さま一人ひとりとのあたたかいつなかりを表現しました。「iji」の造形には、人びとが寄り添い支えあう姿を託しています。

【色】

ブランドカラーはレッド。躍動感や生命のよるこびを感じさせる色であり、人が生まれて最初に知る色でもあります。赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代の人びとのそばにあって、愛され続ける存在でありたいという思いを込めました。

株主さまへのご優待

1.対象となる株主さま

毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま

2.ご優待の内容

ご所有株式数に応じて、以下のご優待品を毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	明治グループ製品詰合せ	2,000円相当
300株以上	明治グループ製品詰合せ	3,500円相当
500株以上	明治グループ製品詰合せ	5,000円相当

※株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体へご寄贈いただくことも選択できる株主優待品の寄贈選択制度も設けております。



3,500円相当の優待品の例です。

ホームページのご紹介 <http://www.meiji.com/>

明治ホールディングス株式会社のホームページでは、企業情報をはじめ、研究開発、CSRの取組みやグループ各社の商品情報などさまざまな情報を掲載しております。